

- 問1 銀行などの金融機関が、家計などから預かったお金の対価として預金者に支払うもの、あるいは企業などに資金を貸し出した際の手数料として受け取るものの名称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 売上金 2. 配当金 3. 元金 4. 利子
- 問2 日本銀行が景気や物価の安定を図るために行う、市場に流通する通貨の量を調節する政策を「金融政策」といいます。この金融政策の代表的な手法であり、日本銀行が民間の金融機関との間で国債などを売買することによって通貨量を調節する操作の名称を選択してください。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 独占禁止法の運用 2. 財政政策 3. 預金の直接貸付 4. 公開市場操作
- 問3 現代の経済活動において、貨幣が果たしている基本的な機能について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. クレジットカードのように、実際の支払いを将来に先送りする機能。
。 2. 円高や円安といった為替相場の変動を、常に一定の範囲に抑える機能。
。 3. 商品やサービスの価値を価格として表し、交換の仲立ちをする機能。
。 4. 民間の銀行が景気の状態に応じて、独自の判断で紙幣を発行する機能。
。
- 問4 景気変動のサイクルにおいて、生産や消費の活動が非常に活発で、景気の山の頂点付近にある好況期に、日本銀行が景気の過熱を抑えるために行う適切な金融政策はどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場を流通する通貨量を増やす。
。 2. 市中銀行が保有する国債を買い入れ、市場を流通する通貨量を増やす。
。 3. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場を流通する通貨量を減らす。
。 4. 市中銀行が保有する国債を買い入れ、市場を流通する通貨量を減らす。
。
- 問5 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションを抑えるため、日本銀行が行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。
。 2. 日本銀行が政策金利を引き下げ、企業が資金を借りやすくすることで生産を促す。
。 3. 日本銀行が民間金融機関から国債を買い取り、市場に出回る通貨の量を増やす。
。 4. 日本国政府が所得税や法人税を増税し、公共投資を縮小させることで景気を抑制する。
。
- 問6 銀行を通じたお金の流れにおいて、銀行が家計などから「預金」を受け取り、それを別の企業への「貸し出し金」に充てる仕組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。
。 2. 日本銀行が政府の銀行として、税金を預かり公共事業の資金を貸し出す仕組み。
。 3. 各個人が所有する余剰資金を、インターネット上のプラットフォームを通じて個人間で直接貸し借りする仕組み。
。 4. 企業が株式や社債を発行し、家計から直接資金を調達して事業を行う仕組み。
。
- 問7 不景気の際に日本銀行が「買いオペレーション」を行う目的と、その結果として期待される経済への影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 円安を誘導することで輸出企業の利益を増やし、国内の雇用環境を改善する。
。 2. 世の中に出回る資金の量を減らし、物価の上昇を抑えることで、消費者の生活を安定させる。
。 3. 世の中に出回る資金の量を増やし、企業が銀行から資金を借りやすくして、経済活動を刺激する。
。 4. 国債の発行額を減らすことで国の借金を削減し、将来の増税の可能性を低くする。
。
- 問8 企業が大規模な設備投資などを行うために、家計などの投資家から直接資金を調達する「直接金融」という仕組みがあります。この際、企業が自らの信用に基づいて発行する、出資の権利や債務を証明する証書の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 税金と補助金 2. 株式と債券 3. 小切手と手形 4. 預金と借入れ
- 問9 銀行などの金融機関が、家計や企業から預金などの形で集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出す金融の仕組みを何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 間接金融 2. 直接金融 3. 財政投融资 4. 公開市場操作
- 問10 経済活動において、物と物とを直接交換するのではなく貨幣（現金など）を介して取引を行う背景には、どのような利点があるからですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. すべての国民が自給自足の生活に戻ることが促し、地域経済を活性化させるため。
。 2. 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致しなくても、円滑に取引ができるようになるため。
。 3. 電子マネーのみに限定して取引を行うことで、商品の価格変動を完全に抑えるため。
。 4. 商品の価値をあえて不明確にすることで、市場における取引の回数を増やすため。
。
- 問11 日本銀行が景気の停滞期に行う「買いオペレーション」という金融政策において、市場の通貨量を増やすためにとられる具体的な手法はどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 民間銀行へ国債を売却し、代金を回収することで市場に流通するお金を減らす。
。 2. 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場に流通するお金を増やす。
。 3. 政府が増税を行い、景気の過熱を抑えることで物価を安定させる。
。 4. 日本銀行の預金金利を引き上げることで、家計が銀行に預けるお金を増やす。
。
- 問12 日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすために行っている業務として、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。
。 2. 不況の際、国に代わって新しい公共事業を計画し、民間の建設会社に対して直接発注する。
。 3. 政府が運営する独立行政法人に対し、低利で運営資金を貸し付ける業務を独占的に行う。
。 4. 国債の売買を通じて市場の通貨量を調節し、物価の安定を図るための政策を決定する。
。
- 問13 資金の貸し借りが行われる際、借りた側が元金（もとの金額）の使用に対する対価として、貸した側に支払うものを何といいますか。銀行と預金者の間、あるいは銀行と企業の間でのやり取りにおいて発生する名称を答えなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 配当 2. 利子 3. 手数料 4. 元金
- 問14 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 国の中央銀行として、紙幣を独占的に発行するから。
。 2. 一般の個人や企業に対して資金の貸し付けや口座開設を行うから。
。 3. 全国の民間銀行の経営方針や役員人事を直接指示するから。
。 4. 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。
。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 利子	銀行は家計から預金という形でお金を集め、それを企業や個人に融資（貸し出し）することで社会の経済活動を支えています。この資金の貸し借りに際して発生する対価を利子（または利息）と呼びます。配当金は株式を保有している企業から利益の分配として受け取るものであり、元金は貸し借りしたお金そのものの額を指します。
問2	答え 4 公開市場操作	日本銀行は「中央銀行」としての役割を担っており、景気が悪いときには市場に資金を供給し、景気が過熱しているときには資金を回収することで経済を安定させます。このために国債などを売買する手段が公開市場操作です。一方、公共投資や増減税によって景気を調整するのは政府が行う「財政政策」であり、日本銀行の役割とは区別する必要があります。
問3	答え 3 商品やサービスの価値を価格として表し、交換の仲立ちをする機能。	貨幣には主に、商品やサービスの価値を「価格」という共通の尺度で示す機能、商品の交換をスムーズにする「交換の手段」としての機能、そして価値を蓄えておく「価値の保存」としての機能があります。日本において紙幣（日本銀行券）を発行できるのは中央銀行である日本銀行のみであり、一般の民間銀行にその権限はありません。また、クレジットカードは決済手段の一つですが、貨幣そのものではなく信用に基づく後払いの仕組みです。
問4	答え 3 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場を流通する通貨量を減らす。	景気が過熱している好況期には、物価が上がりすぎるインフレーションを抑える必要があります。日本銀行は保有する国債を民間の銀行（市中銀行）に売却する「売りオペレーション」を行い、その代金として銀行側の資金を吸い上げます。これにより、世の中に出回る通貨量が減少し、過度な経済活動が抑制されます。一方で、国債を買い入れる「買いオペレーション」は、不況時に市場の通貨量を増やして景気を刺激するために行われる政策です。
問5	答え 1 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。	景気が過熱している際、日本銀行は中央銀行として通貨の流通量を調整する役割を担います。日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却すると、その代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ吸い上げられます。これにより市場を流通する通貨量が減少し、銀行の貸出金利が上昇するため、企業の設備投資や個人の消費が抑えられて景気が沈静化します。この一連の操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問6	答え 1 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。	銀行が預金として集めた資金を自らの判断で貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれます。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその責任において企業などへ貸し出しを行うため、預金者と借り手の間に直接的な契約関係はありません。これに対し、株式や債券などを通じて資金を調達する仕組みは「直接金融」と呼ばれ、区別されます。
問7	答え 3 世の中に出回る資金の量を増やし、企業が銀行から資金を借りやすくして、経済活動を刺激する	買いオペレーションによって日本銀行から民間銀行へ資金が供給されると、銀行が貸し出しに回せる資金に余裕が生まれます。その結果、企業は投資のための資金を借りやすくなり、生産活動の拡大や雇用の創出が期待されます。このように、日本銀行が市場のお金の量を調節して景気の安定を図る制度を公開市場操作と呼びます。
問8	答え 2 株式と債券	企業が銀行などの金融機関を仲介役とせずに、市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。この方法で用いられる代表的な証書が、出資者に対して発行する「株式」や、借入金に対して発行する「債券（社債）」です。これに対して、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれ、明確に区別されます。
問9	答え 1 間接金融	家計（貸し手）が銀行などの金融機関に預金し、その金融機関が自らの判断で企業（借り手）に融資を行う形態を指します。貸し手と借り手の間に金融機関が介在するため、資金の流れが「間接的」であることからこの名称と呼ばれます。
問10	答え 2 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致しなくても、円滑に取引ができるようになるため。	物ブツ交換の世界では「自分が持っているもの」と「相手が欲しいがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しません。しかし、貨幣が「交換の媒介」となることで、誰もが貨幣を受け入れ、それを次に自分が欲しいものの購入に充てることができるようになります。この仕組みによって分業が発達し、現代の複雑な経済社会が成り立っています。
問11	答え 2 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場に流通するお金を増やす	景気が悪い時期には、日本銀行が市場の資金供給量を増やすことで経済を活性化させようとします。日本銀行が一般の銀行が所有する国債を買い取る（買いオペレーション）と、その代金が銀行側に渡るため、世の中に出回るお金の量が増加します。これにより、金利が低下し、消費や投資が促される効果があります。
問12	答え 1 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。	日本銀行は国の預金口座を管理しており、税金の受け入れや、年金・公共事業費の支払いといった国の会計事務を代行しています。この、政府の資金（公金）を扱う役割を「政府の銀行」と呼びます。なお、国債の売買を通じて通貨量を調節するのは「金融政策」としての側面です。
問13	答え 2 利子	資金の貸借において、元金に対して支払われる対価を利子（または利息）と呼びます。銀行にお金を預けることは、銀行にお金を貸している状態であるため、預金者は銀行から利子を受け取ります。反対に、企業が銀行から設備資金などを借りる場合は、企業が銀行に対して利子を支払います。これに対し、株式会社が利益の一部を株主に還元するものは「配当」と呼ばれます。
問14	答え 4 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。	日本銀行は一般の個人や企業とは取引を行わず、市中銀行などの民間金融機関を対象に資金の貸し付けや預金の受け入れを行います。このため「銀行の銀行」と呼ばれています。